

元気ムラ通信 17号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト（通称：元気ムラ応援サイト）」で紹介している地域活動を、より多くの皆様に紹介するために発行しております。

●発行日：平成30年2月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitterアカウント→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

特集

じーびー

はじめての一步を踏みだそう♪

GBビジネス!



どんな山菜が
首都圏で販売で
きるかな?

(左) 秋田駅で開催した「地域の元気お届けマーケット」で、自分たちで作ったお漬物などを販売する南沢集落(小阿仁村)。
(右) 梅内地域(能代市)の山を視察する首都圏のスーパーの皆さん。

「GB」って何のこと?

GBビジネスのGBは「G=じっちゃん、B=ばっちゃん」の略です。秋田県が2011年に始めた「GBビジネス」は、山菜・きのこ採りや、地域に伝わる漬物・菓子作りなど、住民の皆さんの経験・技を生かして収入源に結び付けるもので、「地域の元気づくり」を目的に、町内会・自治会といった団体の皆さんが取り組んでいます。



GBビジネスの主な取組としては、県が窓口となり、



地域の皆さんが首都圏スーパー等に山菜等を共同出荷したり、イベント等で地域の特産を販売したりしています。

「ビジネス」はハードルが高い?

地域活動で「物を売る」と聞くと「難しそう」と足踏みしてしまう人が多く見られます。現在、GBビジネスに取り組む元気ムラの地域も、販売経験がない人たちがほとんどでした。

ある男性は、「山菜を食べるのは好きだけど、売るのは好きじゃない」と話していましたが、集落の仲間に声をかけられ、出荷を始めると、出荷期間中は山に山菜を採りに出かけることが多くなり、今では、日々のやりがいになっているそうです。

住民の活躍の場が増える♪

出荷を通じて、自分の得意分野を生かし、住民の活躍の場が増えるのが楽しさの一つ。今回はそんなGBビジネスの取組をご紹介します。

続きは2ページ!

集落と集落が連携するコミュニティで
「できる」「つながる」が増えていく♪

●どんな集落が取り組んでいる？

GBビジネスに取り組んでいる集落は、県内の北から南まで広範囲に及び、5世帯の小さな集落から数百世帯の集落まで、様々な規模の集落が参加しているのが特徴です。

●共同で山菜を出荷！

1つの地域では、出荷量が限られたり、人手が足りなかったりと、自分たちだけでは販売できない悩みがあります。

そこで、GBビジネスに取り組む地域で「集落ネットワーク」を組み、1地域では出荷できなくても、複数の地域が共同して出荷することにより、安定した出荷体制を実現しました。これが元気ムラの「共同出荷」です。

●オリジナルの惣菜&漬物が誕生

また、それぞれの元気ムラで採れた山菜を集めて加工し、元気ムラのオリジナル商品(惣菜や漬物)を作りました。商品は、GBビジネス仲間の地域で販売したり、首都圏のスーパーに出荷したりしています。



地域が連携し、つながりを作ることで、活動の幅が広がるのが、GBビジネスの醍醐味。

「何かやってみたい」と思ってる地域の方は、ぜひ、GBビジネスの仲間になってみませんか！

GBビジネスでは
こんなことやってます！



山に生えてる「笹の葉」は和菓子屋へ出荷！

↑地域に「ある」ものを活かすのがGBビジネス



商品づくりは仲間との楽しい会話から♪

↑各集落の山菜や漬物を持ち寄った試食会から新たな商品が誕生します。



首都圏スーパーの社長さんがわらびの醤油漬をチェック！

首都圏で好まれる味の濃さに微調整。



元気ムラのオリジナル商品が完成！

↑各地の元気ムラで採れたフキ、ゼンマイ、わらびなどを惣菜にすることで、通年の出荷が可能になりました。

特集は4ページにも続きます！

GBビジネスに興味のある地域団体はお気軽にお問い合わせください！

お問い合わせ

秋田県 活力ある集落づくり支援室(元気ムラ支援室)

●電話/018-860-1215 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp

「話だけでも聞いてみたい」でも大丈夫ですよ
(^^)

元気ムラ 活動紹介

平成29年度、元気ムラ登録した地域の活動です。

おらほの地域、こんな事やっています♪

現在調査中の
6地域です。

3月に元気ムラサイトに
公開予定！



150世帯
338人

かすげ

柏毛地域(藤里町)

雪まつりなど季節の行事を継承するほか、民泊活動など新しい取り組みが行われています。



455世帯
1,126人

しもいわかわ

下岩川地域(三種町)

ワンコインパーティを開催し、若者たちと交流を深めたことにより、神輿の担ぎ手が集まりました。



260世帯
695人

こさがわ

小砂川地域(にかほ市)

自治会のホームページを作り、自治会活動や行事を発信することで、住民と情報を共有しています。



1,175世帯
3,403人

よつや

四ツ屋地域(大仙市)

地域の若者が中心になって「四ツ屋祭り」を開催。移住・定住を勧めるハンドブックも作成しました。

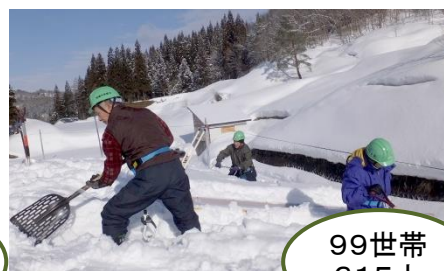


83世帯
235人

しんまち

新町地域(横手市)

老若男女の絆を強めるため、グラウンドゴルフ大会や三世代交流会を開催しています。



99世帯
315人

なんごう

南郷地域(横手市)

共助組織を立ち上げ、住民の雪降ろしを支援したり、地域通貨「マイド券」を発行しています。

お知らせ 「元気ムラづくりセミナー」の開催(予定)

※世帯数・人数は管轄市町村より提供

ふじやま こう

人口減少時代の集落づくりや小さな拠点づくりをテーマに、講演会を開催する予定です。

【講師】一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩 氏

- 日時:平成30年3月26日(月)午後1時から
- 会場:ルポールみずほ(秋田市山王4-2-12)

詳細は、後日ご案内します。

お互いさま スーパー紹介③

仙道てんぽ

羽後町・仙道地域



昨年暮れに
開催したクリスマスフェア。

店内では羽後町社会福祉協議会仙道支部による「お互いさまサロン」を毎週水・土に開催! イベントには、せんだうこども園の園児も遊びに来ます♪



住民から「おらほの店」と呼ばれたい。 地域みんなが関わる店舗へ!

「仙道てんぽ」は、平成15年にJAの購買部の廃止が決定し、地域から商店がなくなることにより危機感を抱いた住民有志が、県の交付金を活用して、平成28年3月に、お互いさまスーパーの第1号としてリニューアルオープンしました。店内には、食料品・日用品や町民が作った農産物を販売しているほか、サロンを設置して、地域住民の交流の場になっています。

- 人口/約370世帯 約1,000人(2017年4月現在)
- 住所/雄勝郡羽後町中仙道字堀内139-1
- 営業時間/9:00~19:00
- 定休日/日曜、祝日(※お盆、年末年始は除く)
- 運営団体/株式会社仙道てんぽ

※お互いさまスーパーは3回シリーズで紹介しました。

声

元気な地域の
想いを発信！

地域からのメッセージ No.16

足踏み
つらねて！
つらねて！



NPO法人「あきた元気ムラGBビジネス」理事長
●山田地域(大館市) 赤坂実さん



2ページで紹介した「集落ネットワーク」による「共同出荷」。これまで県が出荷の窓口役を担ってきましたが、「自立した運営で共同出荷していこう」と、10地域の皆さんがNPO法人を設立しました。理事長を務める赤坂さんに今後の意気込みを伺いました。

もともと、山が好きなので、普段、自分で食べたり、隣近所にあげていた山菜やきのこを、出荷することで、首都圏の人にも喜ばれることが面白く、やりがいを感じています。天然の山菜は栽培ものと違い、一つしかない貴重なもの。自分の山の知識を生かせるのもGBビジネスの楽しいところです。

NPO法人を立ち上げ、私たちはようやくスタートラインに立ちました。どの地域も山菜を採ってくるのは得意ですが、研修会などで、皆が顔を合わせて話す機会が増え、それぞれが抱える課題を共有できるようになりました。採ってきた山菜をどのように

仲間を増やしていこう！

「商品」にするか、皆で商品のデザインやパッケージなども勉強しているところです。

私の住む山田地域も、現在約640人。地域の中でも活動できる人が少なくなってきました。これから大事なのは「仲間」を増やしていくこと。NPOが自立して運営していくためにも、売り上げを増やしていかなければなりません。そのためにも、地域の「中」と「外」の仲間を増やす必要があります。

一人でやろうとすると、すぐギブアップしてしまいますが、人が集まって話をしていると、自分が知らない情報を得ることができます。山の名人、田んぼの名人、歴史の名人、料理の名人……皆、それぞれが得意とする分野があります。立ち止まっている暇はありません。みんなで勇気付けして、「カっこ(ちからっこ)」をもらって、頑張っていきたいと思います。

GBビジネスに取り組み皆さんに
活動の楽しさを聞いてみました♪



●南沢地域(上小阿仁村)
伊藤信義さん

2年前から地域全体でGBビジネスの活動をしています。みょうがやくるみで得た収入で収穫祭を行い、みんなで楽しんでいます。収穫祭はみんなで採って、みんなで食べる場として大切な機会となりました。

収入だけでなく活動が
楽しみに♪



●田沢地域(仙北市)
千葉妙子さん

都市部のスーパーで店頭販売を経験してから、山菜を通してお客様と会話することが楽しみになりました。山菜の出荷準備をしていると、以前に会話をしたお客様の顔が思い浮かびます。

お客様との
会話が楽しみです♪

●梅内地域(能代市)
藤田ひな子さん

地域の皆で収穫し、出荷作業をできることがうれしいです。山に住んでいるので、山菜は身近なもの。商品になるとは夢にも思っていなかったのが、感動しました。

他地域と交流が
増え、勉強になり、
楽しいです。



●金井神・上坂部地域(横手市)
伊藤恭悦さん

最初は山から採ってきたものを販売するという感覚はありませんでしたが、少数の住民の活動から、徐々に地域に広がっていきました。活動を共にすることで、住民同士の絆が深まりました。



活動から
みんなの絆が
強まりました